

Q₁

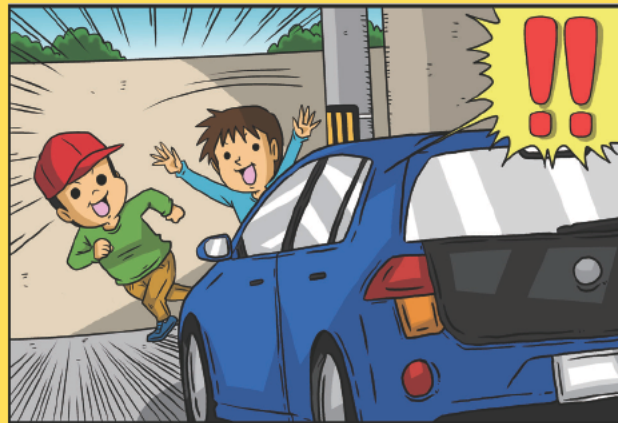
道路交通法では、何歳未満の子どもを一人歩きさせてはならないと規定しているでしょう？

- ① 4歳未満 ② 5歳未満 ③ 6歳未満

Q₂

平成29年中の歩行者（第1当事者[※]）の交通事故件数を違反別・年齢層別にみると、12歳以下の子どもで最も多い違反は次のうちどれでしょう？

- ① 信号無視 ② 飛び出し ③ 横断違反（横断歩道以外を渡るなど）



※第1当事者＝事故当事者のうち最も過失の重い者。過失が同程度の場合は、被害が最も軽い者。

Q₃

平成30年に警察庁とJAFが実施した調査では、6歳未満の子どもチャイルドシートの使用率は何%だったでしょう？

- ① 約66% ② 約76% ③ 約86%

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03(5412)1736

Q1 解答 ③ 6歳未満

<解説>

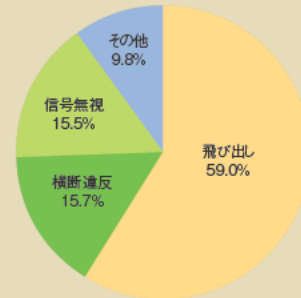
道路交通法には「幼児を保護する責任がある者は自分または自分に代わる監護者が付き添わないで幼児を一人歩きさせてはならない」とあり、幼児は「6歳未満の者」と規定している。保護者は小さい子どもと道路を歩く際は、飛び出しを防ぐために必ず子どもと手をつないでほしい。また、駐車場などではクルマから子どもだけを先に降ろし、一人で歩かせないように注意する必要がある。

Q2 解答 ② 飛び出し

<解説>

平成29年中の歩行者（第1当事者）の交通事故件数を違反別・年齢層別にみると、12歳以下の子どもの違反では「飛び出し」が最も多く、59.0%を占めている。子どもは遊びなどに夢中になっていると安全確認を忘れてしまうことがある。こうした特性をふまえ、道路を横断する時は必ず止まってクルマなどが来ていないか、右・左・右をしっかりと観ることを習慣化させるための教育が重要である。

●歩行者（12歳以下・第1当事者）の違反別交通事故件数（平成29年・構成率）



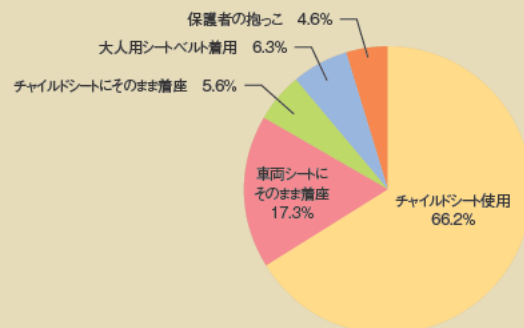
※出典：交通統計（平成29年版）

Q3 解答 ① 約 66%

<解説>

平成30年4月に警察庁と JAF（（一社）日本自動車連盟）が「チャイルドシート使用状況全国調査」を実施した結果、チャイルドシート使用率は66.2%であった。警察庁の資料によると、チャイルドシート不使用者の致死率は使用者の約16倍となっている。保護者は子どもの命を守るためにも、チャイルドシートの使用を徹底する必要がある。また、助手席では万一の時、膨張するエアバッグにより子どもに被害が及ぶ場合があるので、子どもはできるだけ後部座席に乗せるようにしてほしい。

●6歳未満のチャイルドシート使用状況（平成30年・構成率）



※出典：警察庁資料

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736